

俳句・短歌・川柳

ことばの世界 民謡のこころ

「A Crystal Night in Art Museum」では、2016年より「小樽雪あかりの路」の開催時期に合わせて、アーティスト同士のジャンルを超えたコラボレーション(展示とパフォーマンス)をお楽しみいただいております。

今回は、小樽市で活動する「小樽俳句協会」「新墾小樽支社」「小樽川柳社」と、「小樽後志民謡連合会」の共演です。短いことばに作者の思いをのせ書き綴られた「俳句」・「短歌」・「川柳」と、人々の暮らしの中で受け継がれてきたところを歌いあげる「民謡」のコラボレーションを心ゆくまでお楽しみください。今年も皆様のご来場を心よりお待ちしております。



小樽俳句協会（俳句）

昭和四十三年に創立し、今年で五十八年目を迎えます。小さな協会ですが、一月の新年句会をはじめとする年四回の句会を開催するほか、十月には小樽市文化祭に参加しています。

俳句は世界で一番短いポエムです。十七文字の中に深い詩情と人生感を詠み込むことができます。俳句を詠んだ人の心を、それを読んだ人が汲み取ることができれば成功です。



新墾小樽支社（短歌）

短歌結社「新墾」（ニイハリ）の創立は、一九三〇年、九五年前のことになりました。現在は、毎月第二木曜日に、マリンホールで歌会を行っています。

メンバーは十名、各自一首の短歌を持ち寄って、批評・検討し合っています。たまに脱線したりして和気あいあいの会です。札幌から助言者の先生にお越しいただき、ご指導を頂いております。



小樽川柳社（川柳）

現在、地方同人二十一名、市内同人十二名、誌友二十名で、毎月第一土曜日、市民センターにて二十名程度で句会を行っています。

年間行事としては、一月新年句会、七月全道大会、九月東北北海道大会参加、十月交流会、小樽市文化祭、年一度、全国紙上大会を行っています。また、全国交換誌等で交流を深め、誌上大会には百三十名の投句者があります。交換誌で小樽から地方の川柳社の大会に投句し受賞者もあり、広い範囲で活躍の場を広げ、楽しんでおります。

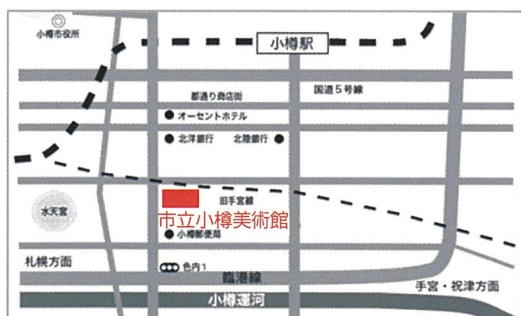


小樽後志民謡連合会

大正二年に小樽追分節連合会の名称で創立し、今年で百十三年を数えます。連合会組織としては、北海道最初の組織となっております。

平成十四年には第一回目の北海道節全国大会を開催。昨年は二十一回目を盛会に開催することができました。

現在は全道大会、全国大会へと出場を重ね、民謡文化の継承・保存に努めており、多くの民謡名人、民謡の唄い手を輩出しております。



市立小樽美術館

【住 所】〒047-0031 小樽市色内1丁目9-5

【電 話】0134-34-0035

【開館時間】9時30分から17時まで

【休館日】イベント中(2月7日~14日)、9日(月)、12日(木)は休館。

※駐車場には限りがありますので、ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

